

令和4年度「学校評価」結果公表シート

学校法人 杉田学園
大和幼稚園

当園ではこの度、令和4年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員自己評価では、子どもたちのために何をすべきか皆で検討し、1年間の保育を行ってまいりましたので、自らの教育活動や日々の園運営の状況を客観的に振り返るいい機会となりました。今年度の結果及び反省を活かし、次年度以降更なる改善へとつなげるため、本シートにまとめ公表いたします。

1. 園の教育目標

教育目標

健やかに 明るく 伸び伸びと

心身共にすこやかな成長を願っての保育を行います。

具体的な教育目標

健康で明るく、自主性と想像力を持った個性豊かな子供の育成をめざします。

四季を通じて外で元気に遊べる子供の育成をめざします。

集団における協調性を持てるようにめざします。

2. 今年度の重点目標

園の教育目標を前提に、目標項目を設定し、達成する為のプランを園長のリーダーシップの元、教職員全員が関与して作成しました。以下の評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、より客観的に自園を見る目を養い、教育の質を高めるためにはどうすべきかを皆で検討し、さらには教員一人ひとりの資質向上と意識改革を促すことを重点項目としています。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園での教育方針・教育内容について、全教職員での共有と理解をはかる。	園としての運営方針・教育内容を明確に示し、目指す教育、進むべき方向性を再確認するため、例年通り園内での勉強会やミーティングの機会を積極的に設け、意見交換を行った。

<p>自発的に明るいあいさつを心がけ、地域との連携をはかる。</p>	<p>学期当初は恥ずかしくてあいさつできない子どもが多かったが、教職員が先導してあいさつしたり、促すことによって、徐々に自分からあいさつするようになった。子どもによっては園外の方々にも自発的に行うようになり、地域密着型の園として望ましい姿に近づいたと実感できた一年だった。</p>
<p>保護者とのコミュニケーションを積極的に図り、より密に連携することで、幼稚園教育の理解を促し、子育て支援に努める。</p>	<p>保護者との関わりの中で、日頃の保育及び行事に対してのご意見や課題に耳を傾け、実際の保育に沿わせるように努めることができた。そのため、子どもたちが健康で明るく伸び伸びと活動でき、行事等では保護者と一緒に楽しむことで、園の教育目標を達成できたのではないかと思う。教職員と幼児または保護者との信頼関係を十分に築き、保護者には安心感を、子どもたちには満足感を与えられるよう、園からも情報提供を積極的に進め、園児の成長を保護者とともに見守りたい。</p>
<p>園の施設・設備・遊具などの教育環境の整備に努め、安全確保の体制づくりをする。</p>	<p>子どもたちがのびのびと元気に体を動かせるように遊具や園庭の点検・整備を定期的に行い、事故・けがの防止に努めた。また遊具や図書等の整備も積極的かつ計画的に進め、教育環境の充実を図ることができた。さらには、常日頃より災害の発生に対しての危機管理意識を教職員間で共有し、園児をはじめ園内の人々の安全を確保するための手段（通報・避難・保護者への連絡等）の周知徹底を図り、緊急時の迅速な対応を心がけるようにした。</p>

4．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>個々の教職員がそれぞれの目標や取り組むべき課題を持って、幼児教育の重要性を認識しながら自己評価を行った。客観的に自らの教育活動を顧みること、反省点・改善点を把握するいい機会を得ることができた。学校評価を通じて得た課題を教職員全員で共有し、意見交換を積極的に行うことで、幼稚園の教育方針や課題を明確にすることができ、次年度以降の礎とすることができたのではないかと思う。この結果をもとに日々の園の運営に取り組んでいきたい。</p>
--

5．今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理体制の整備</p>	<p>自然災害（地震・台風・大雨等）の園内での対応や保護者への連絡対応について、自園の防災マニュアルを基に、教職員の防災対策や意識づけを再確認するよう努める。</p>
<p>教職員の育成・連携・資質向上</p>	<p>園全体・学年・個人のテーマを明確化し、積極的に研修に参加する。またそこで得た情報を全員で共有すべく、勉強会を行う。さらには、他クラスやベテラン教員の指導風景を観察して、意見交換し、互いに学び合う機会を設ける。 保護者を含め来園者に対する対応・電話対応など基本的な接遇マナーの再確認を行う。</p>
<p>園内教育環境の整備充実・衛生管理</p>	<p>子どもたちが伸び伸びと活動し、事故が起きないよう園内の整備と見直しを図る。日頃から気づけばすぐにゴミを拾うことを意識して、清潔な園を維持し美化を図る。子どもたちの興味や関心に合わせた園づくりに努め、自主性と想像力が育つよう、遊具・図書等の整備を計画的に行う。</p>

6．学校関係者評価委員会の意見

特に指摘すべき事項はなく、上記の自己評価は適切に実施されていると思います。教職員皆が自己評価を経ることで、日々の運営を見直すいい機会になったと思われます。地域密着型の幼稚園として身近な存在に感じてもらうためにも、教職員間や保護者との会話・連携を大切にすることが園への信頼と発展につながります。今後も大和幼稚園らしく、明るく伸び伸びした温かみのある保育を継続してほしいと思います。

7．財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められている。

令和4年度 大和幼稚園
学校関係者評価委員名簿

立場・役職等	氏名	人数
顧問コンサルタント	大貫 典彦	1
顧問コンサルタント	高木 秀明	1
評価委員合計		2 名